

授業科目名	人間関係の心理	担当教員名	石上 浩美
必修/選択	必修(幼稚園教諭2種免許/保育士資格)	開講学年・学期	1年 後期(年間開講数 1講座)
科目区分	基礎科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等	外国語、体育以外の科目	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※「心理学」の指導内容を含む
授業の到達目標	(1)自己・対人関係形成に関する社会・臨床心理学的な基礎理論と技法について学び理解できる。 (2)言語的・非言語的コミュニケーションスキルに関する基礎知識と技法を学び理解できる。 (3)保育実践事例から、子どもおよび保護者・家庭支援のための方略について学び、保育計画や指導場面において活用することができる。		
授業の概要	この授業では、社会・臨床心理学的な理論とアプローチから、人間関係についての基礎理論と技法を学ぶ。人間関係とは、家庭、学校園、企業などの集団コミュニティにおいて、日常的に関わるひととひと、またはひとと集団との間に生じる関係性のことである。保育士は、一人ひとりの子どもとの関わりだけではなく、保護者や同僚教職員とも関わりながら、互いに連携・協力することによって質の高い保育を実現することができる。そのためには、円滑で良好な人間関係を構築するための知識やスキルを修得する必要がある。そこで、この授業では協同学習の理念と手法に基づいた問題解決型の学習展開を行う。具体的には話し合い活動(LTD: Learning Through Discussion)の手法を用いて、さまざまな保育事例を基に、よりよい人間関係形成についての方法を探究する。このような手法にも興味・関心を持ち、積極的に授業に参加することを期待している。		
テキスト	「イラストレート人間関係の心理学第2版」斎藤勇(精神書房,2019)		
参考書・参考資料等	「教育心理学-保育・学校現場をよりよくするために-」石上浩美・矢野正編著(嵯峨野書院,2016)、「保育と言葉第2版」石上浩美・矢野正編著(嵯峨野書院,2017)、「対人関係の発達心理学—子どもたちの世界に近づく、とらえる」川上清文・高井清子編・岸本健・宮津寿美香・川上文人(2019) ※非常に多数の文献・資料があるため、講義内で適宜紹介する。		
成績評価の方法	・到達目標標準評価 ・授業参加姿勢(コメントカード記入内容20%・中間レポート:30%) ・期末到達度確認テスト:50%"		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション:履修上の諸注意、評価方法・基準の説明、人間関係(対人関係)とは何か		
第2回	人間関係の中の自己:自己意識理論、自己確認過程と評価、セルフモニタリング、社会的関係性における自己		
第3回	他者や環境との出会いと人間関係の展開:親和行動、自己呈示と印象形成、自己開示、人間関係の親密化		
第4回	言語的・非言語的コミュニケーション(1):非言語的コミュニケーションの感情伝達力、対人距離とパーソナルスペース、言語的コミュニケーションと課題		
第5回	言語的・非言語的コミュニケーション(2):言語的コミュニケーション、スマホやSNSを通じたコミュニケーションと課題		
第6回	好きと嫌いの人間関係:好意的人間関係、嫌悪的人間関係、集団関係性の発達と進化		
第7回	対人援助と人間関係:対人援助行動の心理と理論、向社会性と対人援助、対人援助と支援行動		
第8回	支配と服従の人間関係:社会的勢力と支配的行動、集団行動への服従と適応・不適応		
第9回	攻撃と対立の人間関係:適応(防衛)機制と攻撃性、攻撃行動の分類と基礎理論、反社会的行動		
第10回	集団の中の人間関係(1):欲求と集団帰属、集団凝集性と同調行動、リーダーシップ		
第11回	集団の中の人間関係(2):集団における社会的認知の形成、社会的アイデンティティの形成、フォルス・コンセンサス		
第12回	保育士と園児の人間関係:保育内容5領域における実践指導事例から		
第13回	保育士と保護者・家庭・地域との人間関係:保護者・家庭理解と支援対応、協働関係の構築事例から		
第14回	保育士と保育士の間の人間関係:チーム学校園による取り組みの事例から		
第15回	第1回から第14回までのまとめ		
定期試験	筆記試験		